

イエス様につなげ (ルツ 4:13-17)

すべての人には過去があります。その過去の傷にとらわれていたり、過去の栄光にしがみついているなら、成功の人生は期待できません。過去に対する正しい解釈をするとき、今日の解釈も正しくなります。過去に対するまちがった解釈から抜け出して、サタンを踏み砕く勝利の人生を歩むために知るべきことはなんでしょうか。

きょうの聖書箇所、ルツはボアズと結婚して、その子どもがダビデのおじいさんになったことが書かれています。それは、イエス・キリストの系図

に入ったということで、**すべてはキリスト・イエスのためにあった**という意味です。ルツ、ボアズ、ナオミの人生、いろいろなことがありますが、すべてイエスにつなげることでした。私たちの中にあるまち

がっている解釈を消して、**人生のすべてのことはイエスにつながる過程**だという正しい解釈をしましょう。これは、世の中の人が変わらないことです。世の人は事実しかわかりません。しかし、事実の中には真実があり、その真実のうちに霊的事実が隠されているので、事実だけで解釈せず、霊的事実を知り、事実ゆえにできた傷や栄光から出るようにしましょう。キリスト・イエスにつながるためという霊的な事実以外の声は、内側からであっても外側からであってもすべて遮断しましょう。すべてがイエスにつながるために許されたことです。ノアの時代の洪水、サマリヤの女の人生、姦淫の女の人生、軍隊の悪霊につかれた人も、すべてイエスにつながるためです。これらは、人間の頭で理解できませんが、神様はイエスにつなげるためにどんなことでもなさるのです。

なぜなら、**人間が救われるためには、イエスしかないから**です。イエスだけがキリストで、神様が約束された、人間を救う約束の主人公だからで

す(創世記 3:15)。蛇の頭を踏み砕くことができる唯一の方です。人間は神様を離れているので、すべての人が霊的に死んでいて(エペソ 2:1)、神の御怒りを受けるべき子です(エペソ 2:3)。その人間の罪を解決して、完璧にきよめることができる唯一の道はキリストであるイエス様だけです(ヘブル 10:14)。人は自分が選んだのではなく運命が悪魔にとらわれている悪魔の子どもと言われる存在で、悪魔に従って、世の流れに流されるしかないの

です(エペソ 8:44、エペソ 2:2)。その悪魔の頭を踏み砕き、完全に勝利する王であるキリストはイエス様しかおられません(ヨハネ 3:8)。神様を礼拝して喜ぶ存在として創造されたのに、栄光の神のかたちを獣や物にかえて偶像崇拜をする(ローマ 1:23、ローマ

3:23)神様からの榮譽を受けることができない罪人になってしまった人間が、神様に会うことができる唯一の道である預言者キリストがイエス様です(ヨハネ 14:6)。**イエスはキリストです。人生の問題解決の唯一の希望はイエス様だけしかありません。**それゆえ神様は、人生のすべて、歴史のすべてを動かして、人々をイエスにつなげようとしています。イエス様は、キリストとしてのすべてをまっとうされました。十字架で身代わりとなって死に、あがないと成し遂げ、すべて「完了した」と言われました(ヨハネ 19:30)。他に道、希望はありません。神様は恵みによる信仰によって、そのイエスをキリストと信じて救われるようにしてくださいました(エペソ 2:8)。条件はありません。ただ御名を信じて呼ぶ者は救われます。イエスを信じて、イエスにつながれば、死と罪の原理から永遠に解放され、ほろびることなく、永遠のいのちが与えられます(ローマ8:2、ヨハネ 3:16)。人生のすべてのことはイエスにつながるプロセスです。神様はいまもす



べての人に「イエスにつなげ！」と言われています。いままで見て、経験したことではなく、イエスにつなぐようにスイッチを切り替えましょう。つらい経験にまさることが、イエスにつながることで

イエスにつながらない敬虔に見える修道女より、イエスにつながった娼婦のほうが幸いなのです。神様のみこころを知りましょう。そうすれば、教会で人を見る目が変わります。土の器ですが、中に宝のキリストがある存在です(Ⅱコリント 4:7)。また、自慢してきたすべてのことがちりあくただと解釈するように変わります。事実にとらわれてしまふことがちりあくたなのです。イエスがすべてを包みます。自分の人生のすべてをイエスにつなげ、

過去のことよりイエスがはるかにまさることを知りましょう。それらは、永遠のいのちの祝福にあずかるためのことだったと感謝するようにしましょう。そうすれば、サタンを踏み砕くようになります。また、きょうのすべてのことも、イエスにつながるのだと解釈して、いまのテーマを消して、**ただキリスト・イエス only となるために、神様が動かしておられることだとテーマを変えましょう。**イエスにつなげることによって、サタンが踏み砕かれ、ひざまずく勝利を体験することをお祈りします。

(<http://jremnant.com> に音声と動画が出ています)

ルツ記 4:13-17 イエス様につなげ

なるほど/ 良いことでも悪いことでも、神はすべてのことを用いて、人をイエス様と繋ぐお方である。なぜなら、イエス様だけが人間の問題解決の唯一の希望であり、カギとなるからである。したがって、私の人生に起こったすべてのことは、イエス様に繋がるための過程であり、祝福である。

ならば/ 私の過去のすべてのことをイエスに繋ごう。その時、今のすべてのこともイエス様につなぐことになり、サタンがひざまずくのを見ることになる。

インマヌエル教会聖日メッセージ祈り文 (2020年1月12日)

1部礼拝： 祭壇を築くアブラハム (創 13：14-18)

だれも知らない神様が与える力を得て、正しい契約を見つけるように祈りの祭壇を築くようにされて感謝します。神様がすでに与えられた契約的、根源的、代表的、記念碑的、不可抗力的祝福と契約を回復する祭壇を築きますように。神の子どもとなった身分を回復して、不信仰の根を抜き取り、暗やみが崩れて逃げる祭壇を築きますように。神様が約束された東西南北、縦と横を見渡し、世の中を生かす権威を回復する祭壇を築きますように。神様が約束された確実な未来を握りますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。

2部礼拝：メルキゼデクの祝福を受けたアブラハム(創 14：17-24)

毎日アブラハムにくださった祝福のように、237 神殿のための家庭祭壇を築いて祈るようになされて感謝します。家庭祭壇を築いて神様がくださる戦争のわざわいを止める力を味わいますように。家庭祭壇を築いて世界のわざわいを止める光りの経済を味わいますように。家庭祭壇を築いて時代的な主のしもべの祝福を受ける唯一の出会いの祝福を味わいますように。本格的な契約の祭壇を築いて、キリストの光りを照らして、教会史に残る教会、人物になりますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。